

とうえい

1月号

発行者 ● 社会福祉法人桐栄会
 ● 青森市浪岡大字樽沢字村元330番7
 TEL 0172-62-9201
 FAX 0172-62-9019
 編集 ● 広報「とうえい」編集委員会



新しい年を迎えて

理事長 中川 晴信

皆様には、お健やかに新年をお迎えることと心からお慶び申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染が全国的に拡大し、各施設の夏祭りは取り止めたところです。また、利用者の方との面会は現在も制限しており、利用者の方々やご家族の皆様にご心配やご不便をおかけしています。職員も一丸となって感染防止に取り組みでおり、一日も早い新型コロナウイルス感染の終息を願うばかりです。

さて、昭和六十二年四月、旧浪岡町樽沢に開設しました特別養護老人ホーム「ゆうゆう荘」は、溜池に隣接しているため地盤が軟弱で建物の壁の一部が損壊するなど年々老朽化が進んできました。そこで、現在地から移転し、福祉の拠点としてJR浪岡駅前に整備したいと考えています。このことが、浪岡駅周辺の活性化に寄与できることを願っています。

今後とも地域の皆様が安心して生活できる施設づくりに努めて参りますので変わらぬご支援とご指導を賜りますとともに皆様の一層のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

老健なみおか

外部研修 緊急時の 介護

みんなのために
役立てたい



11月8日コロナ禍の中で、今回は本当に研修が行われるのかという思いでした。そして、事前に感染症対策の知らせや当日の体調を記入する書類が届き、青森へ研修に行ってきた。研修当日、研修室はソリシャルディスタンスがとられている席につき研修内容は変わらず、午前は講義を聞き、演習は午後に行うといった流れでした。今回の研修内容は、緊急時の介護。講師の方は、様々な資格を持った経験豊富な若く面白く、場を盛り上げながら講義してくれる先生でした。心肺蘇生について行い、胸骨圧迫のやり方やAEDの使い方を学びました。体で覚える為にも何度も繰り返し行った結果、額は汗でビしょリ。体もヘトヘト……。疲労感いっぱいでしたが、胸骨圧迫する時のリズム、力加減を体で覚える事ができました。緊急時はかなり時間に左右される為、今後自分がその状況に遭遇した際は、焦らず冷静な気持ちで躊躇せず行動していきたいと思えました。誰にでもいつでも起こり得る事と自分の中で分かっていたつもりでしたが、演習で流れた動画や音声を直に聞く恐怖というか本当に他人事ではないかと改めて感じました。講師の先生は、現役で救急の仕事に携わっている方なので、実際体験してきた話もリアリティがあり演習もより実践的でした。今回の研修に於いて、その時自分に何が出来るのかを学ぶ事ができました。この先、何かあった時は少しでも力になれるように、今回の学んだことを活かしていきたいと思えます。

I・N

社会福祉法人 桐栄会の事業



- 浪岡事業所**
 - 〔介護保険指定事業〕
 - 特別養護老人ホーム ゆうゆう荘
 - 介護老人福祉施設 短期入所生活介護
 - 介護予防短期入所生活介護
 - デイサービスセンター 悠悠
 - 通所介護
 - 介護予防通所介護
- 常盤事業所**
 - 〔介護保険指定事業〕
 - 特別養護老人ホーム とぎわ
 - 介護老人福祉施設 短期入所生活介護
 - 介護予防短期入所生活介護
 - デイサービスセンター みずき
 - 通所介護
 - 介護予防通所介護
- にしやま事業所**
 - 〔介護保険指定事業〕
 - 介護老人保健施設 なみおか
 - 併設型通所リハビリテーション
- 鶴ヶ坂事業所**
 - 〔介護保険指定事業〕
 - 特別養護老人ホーム つるがさか
 - 介護老人福祉施設 短期入所生活介護
 - 介護予防短期入所生活介護
- 〔老人福祉事業〕**
 - 浪岡在宅介護支援センター
 - 外出支援サービス
- 〔ケアハウス〕**
 - ケアハウスすずか
- 〔老人福祉事業〕**
 - 在宅介護支援センターあすき

◎ 編集後記
 11月末、初めて深浦町のダイチョウを見に行きました。息子が2年前に深浦勤務となり、それから11月に1、2回は掃除などで通うようになりました。ダイチョウの側を通るとはあっても通る興味はなく、いつもスルーしていたのですが、息子が今年度で異動となり、もう深浦へもあまり行くことがなくなるだろうと思いつき、急に気がなりました。家族みんなでLet's go!! ライトアップされたダイチョウは、近づくのがこわいと思はれど迫力があり圧倒されました。ちようどダイチョウの側を車が通ったのですが、乗客がゆっくり眺められるようにスピードを緩めて走っているのを見ては心がまだ見に行きたかった感じが来年是年是非1行ってみてくださいね!!
 N・Y

※「とうえい」掲載の個人に関する情報は、ご本人の許可を得て使用させていただきます。

常盤事業所

秋の運動会

〇〇の秋と言えば、食欲の秋、読書の秋、芸術の秋、実りの秋：など様々な秋が思い浮かびますね。みずきではスポーツの秋という事で、秋の運動会を開催しました。紅白の組み合わせも、くじを引くように箱の中からハチマキを引てもらい、互いの健闘を祈ってエール交換からスタート。怪我のないよう準備体操を行い、いよいよ競技開始です。普段行っていないフリースタイルの他に、今回は借り物競争も取り入れました。皆さんにシルバーカーを押しつけて頂き、9月に製作したリボンや布・ブドウ・大根などを使い「なに何個って書いてらんだ？」「青りんごこれだな？」と白熱した戦いが繰り広げられました。

昨年は外出機会が少なく、室内での活動がメインでしたが、その中でも皆さんに楽しんで頂く工夫していきたく思います。



N・A

浪岡事業所

サンドイッチ作り

11月15日、26名が参加し、サンドイッチ作りを行いました。

四つ切りにカットした食パンに、自分の好きなジャムを選び、塗っていたきました。上手に塗る方もいましたが、一人では上手くできない方には職員が手伝って塗りました。「ジャム、いっぱい塗ってもいい？」

「上手く塗れないな」などと笑顔で話され、楽しみながら、たっぷりジャムを塗る様子が見られていました。



完成後の試食では、「歯が無くても、パンだったら食べられるな」「なまにパン食べれば美味しいな」と話されていました。



焼き芋会

今年の時期は、中野もみじ山への紅葉ドライブへ行っていました。今年10月18日からの一週間焼き芋会を行い季節を感じて頂きました。



さつま芋とじゃがいもの2種を、日替わりで焼きます。水に浸しておいた芋を新聞紙で包み、さらにアルミホイルで巻き、炭の中へ投入します。

包む工程では、利用者の方々が率先して手伝ってくれ、手際良く包んでくれました。焼きたてあつあつの芋にバターや塩コショウ、お好みの調味料をつけて完成。

「めーなー」と笑顔で皆さん召し上がっていました。

食事会

10月11日、余暇委員会による外出レクの予定でしたが、コロナ禍による情勢と利用者の方々より食べたいとの声があった「ラーメンと餃子」で食事会を行いました。



ラーメンは職員が作り各々好きな具をトッピングして頂き、餃子は種を作るころから始めました。刻んだ野菜と冷たい肉をごねる際、職員も手が冷え止めたくるところを何事もないう一生懸命ごねる様子は圧巻でした。

包む時には具が多かったり少なかったり悩みながらも王道の形であったり、個人的な形と楽しく協力して沢山作ることが出来ました。

完成が近づくとこれ美味しそうなお香りも強くなり、期待と不安が混ざりつつもテーブルに並んだ時は拍手をして喜んでいました。



「美味しい」「上手だ」と皆さん舌鼓を打ち笑顔で召し上がっていました。職員は嬉しさ半分、悲しさ半分…。来年は気兼ねなく外出して楽しめると思います。

F・K

N・A

N・K

F・H

N・Y

色紙作り



11月10日から11月16日まで色紙作りを行いました。まずはじめに好きな言葉や来年の目標を考えてもらいました。

すると「何て書けばいいかな」としぼりかえたり、なかなか言葉が浮かばず職員からアドバイスももらっていました。

次は、筆で文字を書いてもらいました。文字を書く事が苦手な方もおられ、なかなか筆が進まず、隣席の方々に励まされ何とかな書き上げる方も職員と一緒に筆を持ち、文字を書く方もおられました。

その次はお花紙を貼って完成です。お花紙を手で好きな形にちぎり、配色やバランスを考え仕上げていきました。個人的な色紙が廊下に飾られると、みなさん足を止め眺めていました。

N・K

F・H

N・Y

ケアハウスしずか

脳トレ学習

12月10日(木)午後2時より、ケアハウス食堂で脳トレ学習を行いました。

始めに漢字の読み方を書く用紙を配布すると「わあ、まだ難しい漢字っ？」と、用紙とにらめっこ。「あー、わがねえ」と言いながら、隣の人の用紙を見て答えを書く方や「まだこわからない。先生答え教えて」と声をかける方など様々です。答えを発表すると「ん？ここの読むのか？」と驚き、隣の利用者の方と用紙を見せ合っていました。

次に「計算問題です」とプリントを配ると「算数か」と言われ、ゆっくりと問題を解いていきます。「出来た」と手を上げられた利用者の方から順に答え合わせをしていきました。

最後の「やっこきた。これ待ち遠しくてえ」と楽しみにしていた間違いない探します。「スタート」と声を掛ける前から間違っている所へOをつけて、皆さん真剣な表情。「こわがねだつてえ」と、先に出来た方のプリントを見てOをつけ、「あー、さっばりした。これでわがった」と言いつつ、周りからも笑い声が聞かれました。



F・H

N・Y

グループホーム いこい

干し柿作り



11月9日、ケアハウスよりタンボールいっぱい洗柿をいただき、利用者の方々と共に柿の洗抜きと干し柿作りを行いました。

洗抜きチームでは「おめ拭き」「わ、つけるね」と柿を布で拭く係、焼酎につける係と分かれては手際よく、息もひたひたで作業を行っていました。

干し柿チームは皮むきを依頼する「やれるべが？」と不安気な言いながらも、皮をむき始めるとクルクルと上手に柿を回しながら、切れることなく長い皮をおかれています。皆さん「上手だの」と褒められています。

お店で栗やみかんなどが売られている赤いネットに柿を入れて廊下から見えるように外へと吊るしては、食べられる日を待ち望み、月末に皆で美味しくいただきます。

浪岡事業所

Namioka



にしやま事業所

Nishiyama



鶴ヶ坂事業所

Tsurugasaka



Happy Merry Christmas!!

～各事業所クリスマス特集～



常盤事業所

Tokina



老健なみおか

☆今年も良い年になりますようにと願いを込めて☆

盛り沢山の忘年会

昨年の秋は、例年より暖かい日が続いていました。ところが一転、昨シーズンと大違い！12月中旬は早くも寒波到来で日本海側は大雪に見舞われ、積雪が2mを超す地域もありました。車も身動きが取れず、車の中で一夜を過ごす方もいたそうです。今年はどんな冬になるのでしょうか。

さて、老健なみおかでは12月22日、クリスマス会も兼ねて忘年会を行いました。

まず始めに施設長の挨拶を頂く前に、言語聴覚士スタッフが進行役となり、利用者の方々と一緒に体操を行いました。

その後、施設長が利用者の方一人ひとりに手渡し、手作りのマスコを配りました。「この柄良いねえ」「このマスコ素敵だ」と満足気に話す方もありました。

体操も行い、丁度お腹が空いてきた所に、待ってましたーランチタイム！今回は、ピッコフェスタイルで、おでんやお寿司、お汁粉など豪華メニューが勢揃い。各コーナーから手に取りお盆に乗せ、

「美味しそう、早く食べたい」と話す方も。満足気に食事をし談笑しながら食べていました。



「私、ホクテガ大好きで美味しく食べました。もっと食べたかった」と満面の笑みで話す方もありました。割り箸の袋に大吉・中吉・小吉と書かれた物が入っていて、大中小の給馬が当たるとくじもありました。大吉を当てた方は「おー、やったー！当たったー」と喜び方もありました。そして、来年も良い年になりますようにと願掛けする方もありました。

午後はくじ引きとケーキハイキング。くじ引きはサイコロ転がしと、紐を引っ張って景品を引き上げたりするゲームです。ソロ目が出るのが好きなジューズを2本買えたりし、利用者の方々は真剣な面持ちでソロ目を狙っていました。サイコロの絵柄が揃って大喜びしていました。

今年も新型コロナウイルスで色々な影響が出る年になるのではないかと思っております。

しっかりと感染対策を行い、今年も行事を盛り上げて、楽しい1年にしていきたいと思っております。

N・K



にしやま事業所

通所リハビリテーション

長寿のお祝い「敬老会」

元号が令和に変わり、二度目のお正月を迎えました。2020年を振り返ると、新型コロナウイルスの影響で、外出自粛や環境の変化が多かった一年ではないでしょうか。

そんな中、老健なみおか通所リハビリは、9月21日から26日までの一週間、毎年恒例の敬老会を開催しました。

数え年では九十歳を迎える卒寿の方から、下は七十七歳を迎える喜寿の方まで計八名の長寿をお祝いました。

事前に、紫や黄色のちゃんちゃんこ帽子を被り写真撮影。初めは緊張した様子でしたが、少しずつ笑顔も見られ、祝いにピッタリな素敵な写真を撮ることができました。当日は一人ひとりに顕賞状を読み上げ、記念品と写真をプレゼントしました。

顕彰された方は、どこか誇らしく清々しい表情をされていました。

周りの利用者の方や職員からも沢山の拍手が沸き起り、「わあ凄い凄い」「写真見せてー！いっしょにさー」と羨む声が上がリ、終始盛り上がった敬老会でした。

来年もまた、長い間社会の為に尽力されてきた方々を敬い、祝うことが出来ればいいなと思っております。



M・M

鶴ヶ坂事業所

鍋の日



11月から冬期間は選択食の代わりに「鍋料理」を作ることとし、今回は「豆乳鍋」です。

普段は厨房内での調理ですが、この日は調理員がユニットのキッチンを使用し、調理してもらいました。

利用者の方は煮干しだしや、「ボウヤ人参を煮込む香りに誘われて」「いい匂いだなあ」「美味しそうだなあ」と話され、リビングに集まっていました。

調理員の「できましたよ」との声とともに、器に盛りつけられた湯気の立ち込める豆乳鍋をバクリー「温かくて美味しい」との声が聞かれ、いつもはおかわりをしない方でも「おかわり」と話しながら召し上がって頂きました。

利用者の方の前での調理は特別な味がこれらによって、これからの寒い冬を元気に過ごしてほしいと思います。



K・K